

適正規模・適正配置と関連する教育委員会の施策等について

○いたばしの教育ビジョン

【目指す方向】

いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！地域が支える板橋の教育

家庭、学校、地域、教育委員会がそれぞれの役割を見直し、未来を担う子どもたちの成長を願い分担・連携・協同する。

【重点的取り組み】

「家庭の教育力」「学校の教育力」「地域の教育力」の向上

○いたばし学び支援プラン

【重点4 教員の指導力の向上】

◇ 幼小中連携教育の推進（参考資料1）

小1プロブレムや中1ギャップなどの教育課題に効果的に対応するため、学校（園）段階を超えて連携した教育を推進。

◇ 板橋区版指導計画の作成

小学校から中学校への進学の際の学習のつまづきを克服するために、義務教育 9 年間を見通した指導を行う。

【重点6 地域人材による学校・家庭支援の促進】

◇ 板橋区版放課後対策事業“あいキッズ”の推進（参考資料2）

安全な学校施設を活用して、地域の方々の多様な参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を実施する外、学童クラブ機能を併せ持つ事業。

◇ 学校支援地域本部の設置（参考資料3）

地域が学校を支援するこれまでの取り組みを更に発展させて組織化し、学校の求めと地域の力をマッチングして効果的な学校支援を行い、教育の充実を図るもの。

○学校選択制（参考資料4）

平成 16 年度の新入学児童生徒から導入。

板橋区では、学区域を残し、学校施設状況等を勘案して予め受入可能数を設定し、先ず地元の学校を希望する児童生徒を受け入れている。更に、受入可能数に余裕がある場合に当該学校の通学区域外の児童生徒を受け入れている。

学校選択制の主な目的は、次のとおり。

(1)保護者の学校選択の意思を尊重する。

(2)特色ある学校づくりや開かれた学校づくりを一層推進し、学校の活性化を図る。

(3)就学事務を円滑かつ適正に実施する。

現在、制度の検証検討会を実施している。